

マッケー牧原がどれくらいサ
ンデーレース好きか、このロー
ドスターをみればすぐにわかる
だろう。
このロードスターは、直線の
速さ、コーナリングの速さと安
定性、そして安全性をとっても
高い次元でミックスした、サン
デーレースマシンの見本のよう
なクルマだ。
サーキットでは、ハイパワー
ターボ車を相手に、抜群の速さ
を見せるこのトライアルロード
スターが今回のパワーチェック
バトルに臨み込んだ。
テンロク、しかも非力なこと
で知られるロードスターで「打
倒ターボ」するためには、排気
量アップが絶対必要なミニニ

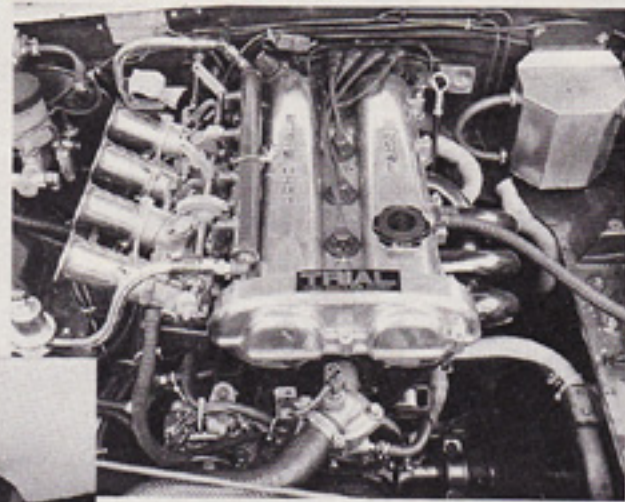
オリジナルスポーツツインジェクションで
吸入効率アップ
トルクフル&パワフルエンジンだ！

トリアル流

NAチューン

ユーノスロードスター (NA6CE)

ピカピカのメッキ仕上げのカムカバーと、オリジナルスポーツ
インジェクション、ステンタコ足が、エンジンルームをきわ
だたせている。今回記録した数値の影の立役者となったコンピ
ューターももうすぐ発売されるぞ。



剛性の高いオープンカーは、6P
ールバーで補強し、コーナリングで
のボディのねじれも解消。同時に
安全性も確保できる。

になる。

トリアルでは4AGピス
トンを加工、流用することでB
6を1.7とにボアアップ。
ガasketに1.0mm厚を使
用し、ピストンと合わせた圧縮
比は11.9。

何種類ものカムをテストした
結果、えらばれたのは264度
(IN/EXとも)だ。かなり
広いカムだけど、ボアアップで
低速トルクはじゅうぶんだから
特性にもピーキーさはなく、低
速でもあつかいやすい。

このロードスターのパワーと
あつかいやすさのもうひとつの
決め手となっているのは試作の
オリジナルコンピューターだ。
決してパワーチェックバトル

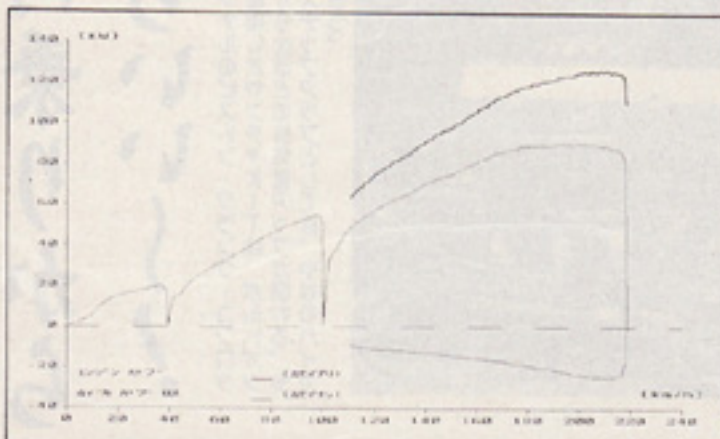
用(シャシダイ用)というワケ
ではないんだけど、このオリジ
ナルコンピューターがなかった
ら170psオーバーはむずかし
かったかもしれない。

乗りやすくてパワーがある、
というところ。結局は中途半端なん
でしょ？と思ひついてもいるよ
うだけど、そうじゃないんだ。
サーキットなんかは特にそうな
んだけど、ギヤ比をコースに合
わせて組み合わせる、なんてこ
とをしない限り、できるだけ広
い回転域を使えるクルマが速い
のだよ。

アンダーパワーに悩んでいる
ロードスターオーナーは、トラ
イアルのロードスターチューン
を参考にしてみよう。

[TUNING SPEC]

B6改 1722cc ポアストローク81×83.6mm
圧縮比11.9 4AG改ピストン 戸田レー
シングカム (IN264度/EX256度) 戸田レー
シングバルブスプリング RS-Rタコ足
オリジナルマフラー アールズオイルクー
ー オリジナルコンピューター オリジナル
スポーツツインジェクション マツダスピード
クラッチディスク&カバー 最大出力170.8
ps/6780rpm 最大トルク19.7kg-m/
5520rpm



MAX POWER
170.8ps!!



ターボ車もカモるテンナナロードスターは
驚異のサンデーレースマシンだ！